



第 6 号
52.12.1

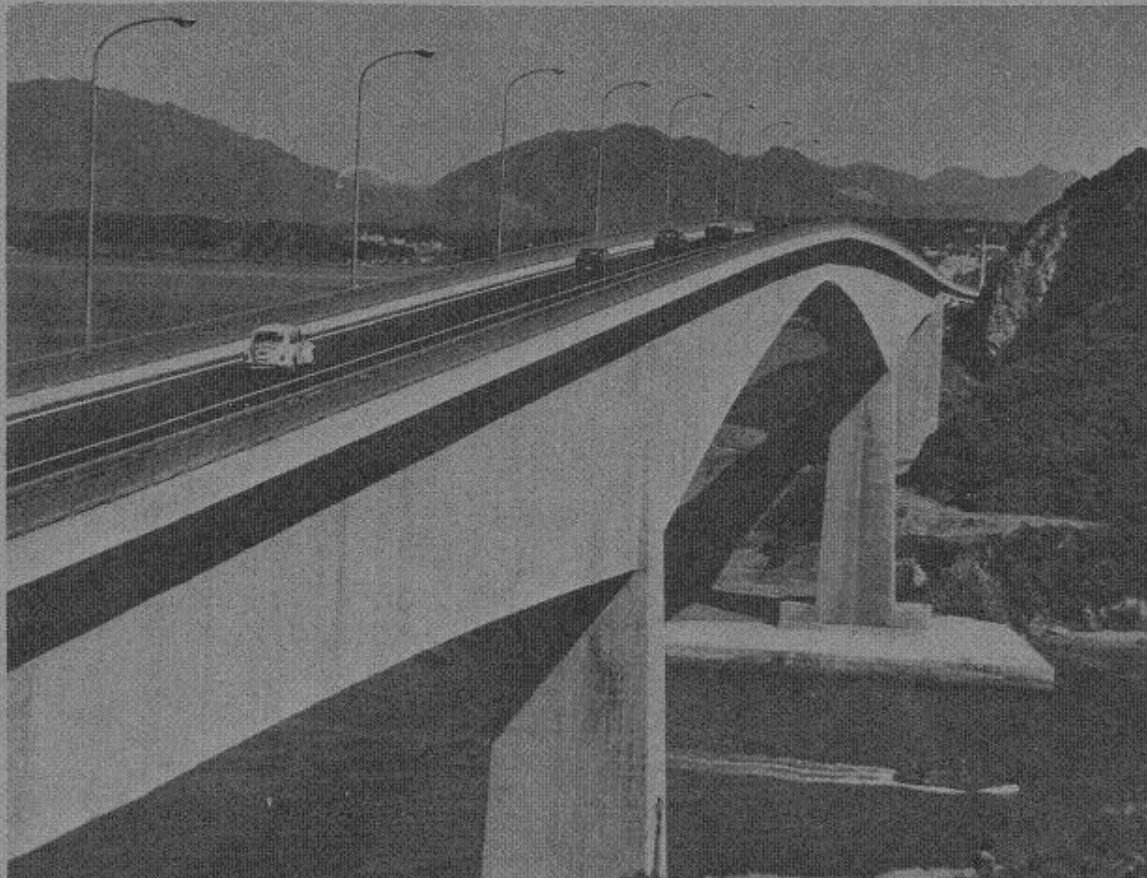
会 報
やまぐち

発 行 者
山口市駅通り2丁目9番15号
山口県土地家屋調査士会
TEL 山口②5975
郵便番号 753

印 刷 所
山口市旭通り1丁目1の6
桜プリント企業組合
TEL 山口②1712

- 本部だより 昨年に引きつづき両測量研修会を実施 企画部 (2)
- 宇部支部Aチームに凱歌 総務部 (3)
- 第2回司調親睦ソフトボール大会
- 第20回土地家屋調査士会中国ブロック協議会 岩国にて開催 (4)
- アンケート①会員の五月分事件簿集計 (4)
- アンケート②事件簿記載に関するアンケート (5)
- 会員の趣味調査 (6)
- 昭和52年度土地家屋調査士試験合格者、私の健康法 (6)
- 所感 グチ二記 下関支部 中村正美 (7)
- 会員通信 会報『やまぐち』の発行によせて 宇部支部 吉行信枝 (8)
- PR広告について 柳井支部 波瀬清治 (8)
- 防長人物抄 名物調査士紹介⑥ 岩国支部 井尻富士夫 (9)
- お知らせ (10)

彦島大橋(下関市提供)



山口県土地家屋調査士会

本部たより

昨年に引きつづき 両測量研修会を実施

企画部

本年度の企画部
事業目標は、
高度技術研修を、
「秋期」、「春期」
の二回一週一泊二日実施いたしました。

秋期研修

九月三日、四日の両日、徳島県徳島市において、新進実技の調査士四十一名が参加して、大野測量の講義をへい入に高度技術研修を実施。
この研修は、「本部が推進している「十七歳地誌の普及管理」をいかに企業員に普及せしめるかを主眼点に置いて、その推進の核としての各支店の技術推進委員の研修は前研修とその推進のための資料交換を目的として実施されました。

定場の研修人員の確保もあり、また研修の目的を認定しての受講していただくために、一般社員からの研修参加の奨励にも多大な努力がたごたごたの努力が幸い上げるとともに、大野測量の研修の推進として充分受講して、より充実した受講士としてみごとく

修了させて行きたいものとして取り組まさせていただきます。
技術研修委員の一人の協力を切に願ってやみません。

春期研修

昨年の「三戸島」研修の好評まうけて、「今後は「真」にその企業を設営して二種研修を実施いたしました。
十一月五日の国民研修「真島」において午後二時から開催され、今回一般研修会には、県下各地から計七十八名の参加があり、前同にも次なる感念ぶりをいたしました。

第一日は、大野測量による測量の基礎について講演を受け、翌日も引きつづいて大野測量の講演と、三村会員、本部会員の両名による華語講座にもともなう座談会による華語の活用と調査士の品位保持についての説明があり、翌日ある研修会が二日間わたって実施されました。

この二日研修は、主として企業員合戦を機会を兼ねた座談会が主として出席して、おまじが終つて



いるいろいろな問題についての情報を交換し、それにより各社員の実務の進捗にも新展開に反映するのではないかとも考え、かつ企業間の競争を高めることによつて企業の新進がより強化してゆくのではないかとともに感じ、実施した次第であり、両年度の研修会では、まさに支店はだしの部が統括し、各支店対話の三層各級の進歩も感じられ、全島域下町の夜を光栄に感念したものでした。

PRコーナー

貴社からの「調査士」再建に際するメッセージを、当会では、下記の通り三ヶ月間、十一月末、県下各支店村にて、その配布方を依頼いたしました。

なお、山形県土地家屋調査士会の各入りの特設エントランス「再建是請会」を主催し、委員担任とし、同様に、同様に三行、各支店村にて一冊ずつ配布しました。



技術研修会

二週間の研修会を済ましたことを早くお知らせいたします。

二存じてですか?

1. 調査士としての責任
2. 調査士としての権利
3. 調査士としての義務
4. 調査士としての地位
5. 調査士としての使命
6. 調査士としての理想
7. 調査士としての未来

山形県土地家屋調査士会
山形県土地家屋調査士会

総務部

宇部支部Aチームに凱歌

第二回司調親睦ソフトボール大会

昨年引き続きつづき、山口県司法書士会と山口県土地家屋調査士会の合催の親睦ソフトボール大会が、十一月三日、午前十時より宇部市佐渡小学校の校庭で開催されました。

この日は、またとない快晴に恵まれて、参加の各支部から二チームずつ、親支部のみ一チーム編成の合計十一チームの百九十名が参加して日ごろの腕前を競いました。

日中の登記業務、御座業務における技能と比類してかどどか知らず随所に好守、好打あり、ホームランも放出して、なごやかな一日でした。今回は、宇部支部Aチームが決勝戦で徳山Aチームを三対一で破り、金の優勝杯を手に入れました。

敗者復活戦に勝ち抜いた萩チームは、三位決定戦において、下関Aチームと戦い惜しくも敗北はしましたが、日に五ボールも消化する猛攻のシュートとなったため、いかな快楽竹内投手も、さすがに不運でした。親支部チームの取組に拍手を送ります。

当日の対戦成績は、別表に示すとおりです。



おめでとうございます。今回は、どのチームが優勝の美酒を味わうことになるのか、今から楽しみます。なお、この催しが大過なく、盛会のうちに無事終了したことについて運営委員一同ここから感謝しております。

司調親睦ソフトボール大会得点表
昭和52.11.3 於 防 府 市



アンケート②

事件簿記載に関するアンケート

本年十月に会長名をもって、事件簿記載に関するアンケートを各会員あてに発送し、その回答を求めました。

質問内容は次の通り。

質問(一) 調査士法第十三条に関連する事項

1. 事件の受託の時期を何時としますか。

イ 依頼者から相談を受けた時
ロ 閲覧、調査を済ませ、所有者と手続きの方法を打合せた時

ハ 委任状又は報酬が登録免許税の一部を受領した時
ニ その他の意見

2. 事件簿に登録する時期

イ 受託した時

ロ 申請書を法務局に提出した時

ハ 1・2を勘案した適宜の時期
ニ その他の意見

費殿は何時の時期で事件簿に登録しておられるか。

質問(二) 過失・不法行為・担保責任

等に対する消滅時効を考慮の上からも調査測量実施要領八頁、委(受)託書を手交する事を考えてはどうでしょうか。

1. 事務が煩雑になるからいけない。
2. 時効が成立するかどうかかわからないから必要がない。
3. 品位保持の上から委(受)託をはっきりする必要がある。
4. その他の意見

質問(三) 年計表について集計に際し、表紙の裏に記載されている(イ)と(ロ)を理解されていない会員が多い。意見があればお願いします。

右アンケートに対し、七五・六の回答があり、その内訳は次の通りでした。

質問(一)

1. イ 十四票

ロ 四十五票

ハ 三十票

ニ 十一票

2. イ 四十三票

ロ 三十八票
ハ 十七票
ニ 二票

質問(二)

1. 三十五票

2. 十票

3. 三十五票

4. 二十票

なお、本年度の各種行事ならびに回答を求める書類について、会員の参加の割合あるいは回答率すなわち会に対する協力の程度は、次表の通りの内容であります。

	5月分報告件数	改正説明会出席率	事件簿記載率
山口	52.8	47.2	69.4
山本	76.6	66.7	81.3
萩	75.0	91.7	87.5
岩国	67.3	70.6	71.2
宇部	65.2	52.2	68.9
下関	56.9	70.1	80.7
合計	64.3	64.3	75.6

日和見申述書

今の時代は権利ばかりの自己主張が多すぎて、とかく何事につけ、ギスギスした緊張状態が随所に見受けられる。たとえば境界の問題にしても、当今坪何万円、何十万円という世の中なものであるから、それだけで、やれ境界が喰いこんでいるのだ、約束が違うのと、うるさいばかりの御託宜と相成る。

つまり、これは土地の金銭的価値にばかり、あまりにウエイトが置かれてくるものだから、実際の土地の効用とはかわりなく、トラブルが発生するのである。

土地の境界がわずか数センチ違っただけで目くじらを立てるような、そんな世の中が情ない。

かつては、土地と土地との境界には、多かれ少なかれ若干の緩衝地帯が置かれていた。

要するに、法(のり)の一種であろが、その緩衝地帯の存在がどれほど相隣関係を円滑にしていたかを改めて考えてみる必要がある。

我々の持つ測量技術は、何も土地の経済上の要請によって成立しているのではなく、土地の有効な利用のための正確な地形の把握こそ存在価値があるのでないだろうか。

金銭的のためにばかり測量の精度が利用されるのは、とても悲しいことだと思えてならない。……専

会員の
趣味調査



種類	回答数	%
無趣味	56	15.1
無回答	46	12.4
囲碁	34	9.2
釣り	31	8.4
旅行	19	5.1
麻雀	18	4.9
読書	17	4.6
将棋	17	4.6
文化関係	14	3.8
スポーツ関係	8	2.2
その他	8	2.2
その他	8	2.2
その他	7	1.9
その他	6	1.6
その他	6	1.6
その他	4	1.1
その他	4	1.1
その他	4	1.1
その他	4	1.1
その他	4	1.1

その他回答数

3 舞踊、史蹟探訪、和歌、ダンス、養魚、ボーリング、卓球、パチンコ

回答数

2 絵画、洋蘭作り、アマ無線、小唄、生花、茶道、スポーツ、登山、スキー、狩猟、テニス

回答数

1 謡曲、ラジコン、川柳、骨董品、盆庭石、連珠、射撃、潜水、空手

昭和五十二年度土地家屋調査士試験合格者

氏名	生年月日	住所
通山 晃 男	大8・1・1	光市大字島田二〇九二番地
河村 誠 一	昭22・2・10	玖珂郡錦町大字広瀬六六九四番地
増野 省 治	昭24・3・6	宇部市大字西岐波三〇七〇番地
磯村 美 樹	昭24・6・13	徳山市新町二丁目二四番地

山口地方事務局関係 四名

私の健康法

宇部支部 吉行信枝

私は昭和五十年の五月ごろまで、時折頭痛がして、めまいを感じるようになりました。

医師の診察を受けると、血圧が高くなっていて動脈硬化音が聞こえるとのことにて、自己の体質改善を思い立ちました。以来、左のことに留意して実行しています。

一、昭和五十年六月より、玄米を正食とする。

一、昭和五十一年十月より、朝ラジオ体操をする。
 一、昭和五十二年五月より、右の体操を裸で行なう。
 一、昭和五十二年七月より、朝根昆布入りの冷水を服用する。
 今では前記の症状はなくなりました。

私は思うのですが、仕事の性質上身も心も健全でないと、仕事が出来ないはずがありません。心身が資本です。一日の仕事は速やかに正確に、笑顔で処置するには、快適な体が必要であると信じて、ややもすると挫けそうな心に鞭打っております。

所感

グチニ記



下関支部 中村正美

季節

ストロブが恋しい季節となった。若草が野に萌える……春、紅葉に山が染まる……秋。

私にはこの様な風情を感じる感覚も余裕もない。殆んど動物的に身体で季節を感じ、心に潤いを覚えることは皆無である。ヤボな男なのである。

スキの波間に月を見ても秋を意識することは少ないが、終業時に熱帯が恋しくなると、間違ひなく冬の訪れである。新緑の春の空気はそんなに美味いとは思わないが、咽喉を濡らす冷えたビールは私に夏の到来を告げる。ケチな男ではある。

神が与えた自然の享楽を感受するアンテナの感度は不良であるが、私は寒い冬が去ることを願わないし、太陽と遊びたいと夏を持つこともない。さりとて淋しくもない。

季節は順序よくやって来て、確実に去って行く。長い一日はあっても一年は短い。

歳を重ねながらも過ぎた年の充実感など味わう余裕はなく、只々先生も走る師走と化す。

飛躍する要素もないのに、来る年の良き年であることを人に増して願っている。勝手な男である。

ガムシヤラに生きる人生が必ずしも哀れだとは思わない。私の周囲にも季節は移り、自然の恩恵は授けられている。

しかし、野辺の花を見て季節の流れを悟る様な生活が、私の人生に訪れるかどうかは疑問である。

子供

私には八才の長男と五才の次男、二人の胸白坊主がいる。天性の胸白であり、高価な玩具も彼等の手に渡ると数日の運命である。

最近あまりやらないが、兄弟ゲンカも以前は派手にやっていた。そんな時は「リカちゃん人形を買ってやる。」と言ったら、即座におとなしくなったものである。彼等にと

って女の子扱いされるのは、大変な屈辱なのである。

子供達に私の職業は何かと問うと長男は「金儲ぎと測量」と答え、次男は「研究所」と続ける。私も自分の職業を教えたことはないが、全く可愛くない。

では、彼等の希望する職業はと言うと長男が、タクシーの運転手、であり、次男が、プロ野球の選手、である。長男の夢は叶えてやれそうだが私の胸が痛むのは次男の希望職業である。彼は、先天性異軟骨症、と言うやっかいな病気の為身長が伸びない。医者から不治の病であることを宣告された時はオイオイと泣いたものであるが、今では涙も枯れて結構楽しくやっている。

横道にそれだが、その次男が「お父さん、お母さんと結婚したら？」と勧める。可愛くない。

又、長男が五才の時、私が所用で秋穂町に行くことがあったので連れていったことがあるが、この時も苦笑したものである。実は私は開業するまで秋穂町に女房と住んでいたのであるが、長男は開業後に下関で誕生した。車中「何処へ行くか」とたずねるから「秋穂へ行く」と答えると「ボクは秋穂へ行ったことがある。秋穂を知っている。」と言う。「そんなことはない、お前はまだお母さんのお腹の中にいたから知ってる訳はない。」何気なく私は答えたが次

の瞬間、度肝を抜かれた。「だってボク、お母さんのお腹にいる時、お母さんのヘソの穴から覗いて見たモン。」

同じ年の、父の日、に彼は保育園で描いた私の絵をプレゼントしてくれた。顔の部分に不相応な大きなヒゲを描いたのは納得できるとしても、体の下に男い長い部分が描かれているのは判断しかねた。足でもなさそうだし、彼に質問してみた。「これは何だ」即座に明快な回答が鈍重な彼から得られた。「お父さんのチンコ。」保育園の先生にも同じ説明をしたそうである。自分では劣等感を持っていても子供にとっては偉大な一物なのである。以後、私も自信を持った次第である。

次男には正反対の評価をされたことがある。彼等と一語に風呂に入った時のことであるが、私の股間を見て三才だった次男は突然「お父さんにはチンコが三つある。」頭脳明晰な私は慌てて湯舟に身を沈めた。彼等は父親の可愛さも素直さも女房の腹の中へ忘れて生まれ落ちたのであろう。

しかし、生意気な長男も、身体障害児の次男も私にとっては、何にも優る、宝物、なのである。



会員通信

会報「やまぐち」の発行に寄せて

宇部支部 吉行信枝

「会報やまぐち」第五号が私の手に届きました。
 担当の皆様が思われず、ほんとうに御苦勞様です。有難う御座いました。
 私は、会報に接していると、いつもほのぼのと嬉しさが湧いて来るのです。

どの項を見ても、真心が、喜びがあり、また詳細におきましては、会友の在りし日の側面を思い、心からの哀惜を念じ、別れを惜しみつつ悲しさを覚えずにはいられません。毎号を通じての「部長人物抄」においては、「御会いして見る面影の異に、思いもかけない御努力の一面の

ある事を知り、驚き入って居ります。我々会員の勤みとなつて来ることで御座います。」「
 「会報やまぐち」が、今後益々充実し、我々の心の糧となることを願つてやみません。」「
 終りにのぞみまして、執行部の皆様、御当の諸先生方の御努力に、厚く御礼申し上げます。」「

PR広告について

編 井 文 雄 武 瀬 清 治

組 組

会が行なう宣伝広告について一言考へるところを書きたく思います。事柄は、その内容についてです。表示發刊に違當する時間とか費用を一般に知らせること、建物の表示等は、通例どごまで仕上がつておれば申請に移れるかということ、この点を強調した広告を出してはしいと思ひます。

広告ですから、百立つよりは、ゴキブリした文章はやめ、図形や表をユツタリと配装してほしいものです。以上、要件のみにて失礼します。

昭和四十九年五月 会長表彰をうくる
 同 五十二年五月 法務局長より感
 謝状をうくる。



訃 報

島 本 喜 佐 熊 訃

享年八十一才（前治二九年生）
 事務所 阿武郡阿武町大字原古瓦巴
 昭和五十二年十一月二十九日 急逝
 されました。
 ここに謹んでご冥福を祈ります。

昭和二十七年十二月十八日 入会。
 同 三十五年五月以来四十八年五月
 まで副委員長・本部監事・理事を承
 年在任し、本部役員退任後は支部役
 員として後輩の指導に当たられた。
 昭和四十九年五月 会長表彰をうくる
 同 五十二年五月 法務局長より感
 謝状をうくる。

編集雑記

★陸走の声を聞くと、時間の進み方が一番早くなるような気がします。不況がどっしりと腰をおろしてしまつていゝもので、そのどっこをつついてみても、朝のニ・トスは寝ぬません。せめても実業社員の手になつてほしいものです。

★表紙の写真は、毎回山口縣下の輪っチーでお願いしておられます。

「橋」は、後印と此印とをこなぐものであり、その両側をしつかりと結びつけて交差しあう存在として特に重要な役割を果しています。

前企画部長であった中村正実会員は「その意味をこめて『橋』シリーズでこの会報の表紙を飾ることにしたのだ」と話してくれました。

会員間の結束の象徴としての「橋」、会員と一般市民を結びつける意味での「橋」など、いろいろな解釈が出来そうです。地元で知られた「橋」の写真をどんどんお寄せ願ひます。

★次回の発行予定日は、昭和五十三年四月一日です。良い新春をお迎えください。

防 長 人 物 抄

名物調査士紹介 ⑥

アマチュア人生

岩国支部 井 尻 富士夫

—— まずは自己紹介から ——

山梨産の運動家
で、ロンドン滞遊歴を
留している人が初
見受けられる。
私とその他一人で
あって、誤解が存
在し、よく見ても
とどろしく、事実を見て驚しんで
いた。



ある日、友達に誘われて同好会
に入会し、このあたりから、見てき
しむ、のちから、誤解する、方におお

って納みつきたり、自然「私作」
をつけて、朝まで十二時間、作年は三
十本ばかり、代筆者はランニングの
一生を総写りして、何んか、或るの
時、や、有徳の手帳を中心にして、母
則を以て語る、話のつづき、な
ど、いずれもは高級雑誌や教員や書
や、に入賞、まさに、「朝日賞状」と
いった有様である。

▼ 中絶に罹る。ロンドン滞遊歴の
少く、という世界の作品発表会には、
多くの人材が来られるので、その
断々、片づらぬから、後援で編集・録音
に取組む。
其の足は解かれて、紙媒体などに取



賞 状

出されることも多く、ロンドン滞の
経河から、目録目録している毎日で
ある。

—— 紹介書からもう一言 ——

井尻委員の目によれば、ロンドン
とは、あくまですべてをそっくりで押
し出すところに、その存在理由があ
るから。

自費から、編集、録音まです
べて丹力で仕上げることには、かなり
の時間と労力が必要であろう。
しかも現代の相対化とも組織化を
もった社会機構の中に、人が変更され
ばするほど、こころい人の存在主
張の試みがあります。早く行なわれて
くる。

▼ 再脱出のロンドン滞遊歴、本人は、
「ロンドン滞」と題して言われる
が、なにかどうして、その道でも、
中絶中絶滞遊歴委員会、経路、ロ
ンドン滞遊歴など、まさに「アマチュア」
の世を打撃した。

—— アマチュア烘壇も ——

自己紹介では、ロンドン滞遊歴にしか
勝つて居られないが、アマチュア烘
壇もまた、ロンドン滞遊歴と合わせて、昨
年9月には、「雑誌アムチュア烘壇
雑誌」と呼ばれる書籍について、
寄附よく試験に合格、賞状状を手
にされている。

うが
うと
北よ
現在
三年
る海
と田
バス
とか
ルキ
はJS
るD
二強
JBS
EA
賞員

Table with 2 columns (Year, Name/Event) and multiple rows of text.

の番号は末尾のABC...XYZ
をくりかえすので、これが二つ
イナシンは読者の誤りというこ
で、これをアマチュア烘壇仲間
は「アマチュア烘壇」と呼んで
使われているとか。

▼ 日本人は、子どもが中学になつて
アマチュア烘壇の活動を知ること
め、つい最近まで引退されたた
で、と言えない。
現在、本業に加えて、調査士
の各部長の活動をしっかりと
行なう。
この対象、今一層の調査を
進めよう。

